

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援
審査結果表

大学名	法政大学	申請区分	タイプB
構想名	課題解決先進国日本からサステイナブル社会を構想するグローバル大学の創成		

〔評価コメント〕

本構想は、大学全体にわたる関与が可視化されており、全学を挙げて包括的かつ多面的に取り組む姿勢が明確な点が高く評価できる。5つの目的として、教育、研究、高大連携、社会人教育、体制構築という大学を取り巻く多面的なテーマを掲げ、それぞれに目標を設定している点は傑出している。「サステイナブル社会」というコンセプト（社会価値）を全学的な研究・教育に取り組んでいくことを目的としている点において、一つのストーリーを持つ大学戦略としてのまとまりを効果的に示している。大規模大学でありながら全学で共有するグローバル化への対応に向けた理念が明確で、それをもとに構想全体がデザインされている点において極めて優れている。更に、構想の範囲が初等中等教育、更には社会人の学び直しにまで及ぶ点は、社会的要請に適う視野の広い構想として高く評価できる。

本構想で実施する個々のプログラムも質の高いものを目指しており、学びの成果を可視化する「学修ポートフォリオ」の構築を始め、ルーブリックを用いたグローバル・アクティビティ体験を通じた教育効果の可視化等について、先進的かつ意欲的な挑戦として高く評価できる。加えて、貴学がグローバル化を推進してきたこれまでの実績をベースに、特に教員の国際化について意欲的かつ具体的な取組を詳述していることから成果に大きな期待が持てる。

一方で、本構想において5つの目的を掲げている点は分かりやすいが、取組内容が抽象的になっていると見受けられるため、具体的な取組を明確に示す必要がある。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。